

中国	中国の史書による倭国(日本)の記述								
漢 (前漢) (前202年に劉邦が建国) ↓ (新)	『漢書』地理志 (1世紀に班固が編纂) 紀元前1世紀, 倭人は百余国に分立し, 楽浪郡 (現在の平壤付近) に定期的に遣使して朝貢 ★楽浪郡 (漢の武帝が紀元前108年に衛氏朝鮮を滅ぼして設置した行政区4郡の一つ) = 当時, 朝鮮半島は漢の植民地だった								
後漢 (25年に光武帝が再興) ↓ (220年に後漢滅亡)	『後漢書』東夷伝 (5世紀に范曄が編纂) 57年 倭の奴国の王が後漢に遣使→洛陽 (後漢の都) に赴き, 後漢の光武帝から印綬を賜る (建武中元2年) → 福岡県志賀島から「漢委奴国王」の金印が発見される (1784年に筑前国の農民が発見) ★奴国は福岡県博多地方に存在した国→須玖岡本遺跡 (福岡県) から発見された甕棺墓が奴国の王墓と推定される 107年 倭国の王帥升らが, 生口 (奴隷のこと) 160人を安帝に献上 (安帝の永初元年) ★2世紀後半 (桓帝・靈帝の間) には倭国大乱 [志賀島出土金印]								
魏 呉 蜀 (三国時代)	『魏志』倭人伝 (3世紀に陳寿が編纂→正式名称は『三国志』魏書東夷伝倭人条) 邪馬台国 (30カ国余りの小国連合の盟主国→邪馬台国の位置=九州説 (吉野ヶ里遺跡が論拠)・近畿説 (纏向遺跡が有力な論拠)) ★近畿説の場合…既に3世紀前半には近畿から九州北部に及ぶ広域の政治連合が成立していた→後のヤマト政権につながることになる <table border="1"> <tr> <td>政治</td> <td> 卑弥呼 (邪馬台国の女王→夫を持たず, 弟が政治を補佐) →鬼道 (シャーマニズム) を行う (神のおつげを聞く) ★宮殿には倭觀 (望楼) (物見やぐら)・城柵を設置 </td> </tr> <tr> <td>地方</td> <td> 一大率 (諸国を巡察する役人) を伊都国に設置 ★平原遺跡 (福岡県) が伊都国 (福岡県前原市付近) の工事? </td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td> 身分制度=大人 (支配者層) - 下戸 (被支配者層) 租税制度・刑罰制度・市場あり ★市場は大倭 (市場を監督する役人) が管理 </td> </tr> <tr> <td>習俗</td> <td> 袈裟衣 (男の服装)・貫頭衣 (女の服装) ★男性は大人も子供も顔や体に入れ墨をしていた </td> </tr> </table> 『魏志』倭人伝 (3世紀に陳寿が編纂→正式名称は『三国志』魏書東夷伝倭人条) 邪馬台国 (30カ国余りの小国連合の盟主国→邪馬台国の位置=九州説 (吉野ヶ里遺跡が論拠)・近畿説 (纏向遺跡が有力な論拠)) ★近畿説の場合…既に3世紀前半には近畿から九州北部に及ぶ広域の政治連合が成立していた→後のヤマト政権につながることになる	政治	卑弥呼 (邪馬台国の女王→夫を持たず, 弟が政治を補佐) → 鬼道 (シャーマニズム) を行う (神のおつげを聞く) ★宮殿には 倭觀 (望楼) (物見やぐら)・城柵を設置	地方	一大率 (諸国を巡察する役人) を 伊都国 に設置 ★ 平原遺跡 (福岡県) が伊都国 (福岡県前原市付近) の工事?	社会	身分制度= 大人 (支配者層) - 下戸 (被支配者層) 租税制度 ・ 刑罰制度 ・ 市場あり ★市場は 大倭 (市場を監督する役人) が管理	習俗	袈裟衣 (男の服装)・ 貫頭衣 (女の服装) ★男性は大人も子供も顔や体に入れ墨をしていた
政治	卑弥呼 (邪馬台国の女王→夫を持たず, 弟が政治を補佐) → 鬼道 (シャーマニズム) を行う (神のおつげを聞く) ★宮殿には 倭觀 (望楼) (物見やぐら)・城柵を設置								
地方	一大率 (諸国を巡察する役人) を 伊都国 に設置 ★ 平原遺跡 (福岡県) が伊都国 (福岡県前原市付近) の工事?								
社会	身分制度= 大人 (支配者層) - 下戸 (被支配者層) 租税制度 ・ 刑罰制度 ・ 市場あり ★市場は 大倭 (市場を監督する役人) が管理								
習俗	袈裟衣 (男の服装)・ 貫頭衣 (女の服装) ★男性は大人も子供も顔や体に入れ墨をしていた								
魏 ↓ (265)	239年 卑弥呼が難升米 [大夫] を魏に遣使→帯方郡 (現在のソウル付近) を通じて洛陽 (魏の都) に赴く (景初3年) →「親魏倭王」の称号・銅鏡100枚・金印紫綬を魏の明帝から賜る ★卑弥呼の賜った銅鏡100枚を三角縁神獣鏡と推定する説もある 248年 狗奴国 (王=卑弥呼) と抗争中に卑弥呼死亡 ★箸墓古墳 (奈良県) = 倭迹迹日百襲姫命 (卑弥呼に比定される) が被葬者 →男を立てるが混乱→老与 (卑弥呼の宗女) を女王に擁立して混乱収束								
晋 (西晋) ↓ (316) 五胡十六国 ↓ (439) 北魏 ↓ (420) 東晋 ↓ (420) 宋	266年 老与が洛陽 (晋の都) に遣使 in『晋書』倭国伝 →『晋書』以降, 150年間中国の史書に日本の記述なし ★のち, 中国は東晋十六国(五胡十六国)時代 (4世紀) 中国の朝鮮半島に 北魏 (北朝)・宋 (南朝) の南北朝時代 (5世紀) に対する支配力が弱まる ①高句麗が楽浪郡を滅ぼす (313) → 高句麗は北朝の北魏に朝貢 ②馬韓を百濟が, 辰韓を新羅がそれぞれの地域を統合して成立 (4世紀半ば) →百濟は南朝の宋に朝貢, 日本と親交を結ぶ								

[NOTE]

- ①水稲耕作の開始(食料採取段階から食料生産段階へ)→貧富の差が生まれ, 身分階級が発生
- ②地域ごとに集落(ムラ)が形成される→治水・灌漑などの共同作業を指導し, 集落(ムラ)を統率する首長が出現
- ③灌漑用水の確保, 余剰生産物の収奪などをめぐり争いが始まる→強力な集落(ムラ)は周辺の集落(ムラ)を統合し, 小国(クニ)へ発展
- ④紀元前1世紀……倭人は100余国に分立→朝鮮半島の**楽浪郡**へ定期的に遣使 ①中国や朝鮮半島の先進的な文物を手に入れるため
- ⑤紀元後1世紀……小国の王による地域の統合が進展→後漢の都の**洛陽**へ遣使 ②中国の権威を利用して, 倭国内での立場を高めるため
- ⑥紀元後2世紀後半…戦乱が激化し, 倭国大乱(→この頃の倭国内では軍事的・防衛的な機能を持つ**高地性集落**・**環濠集落**が多く造られている)
- ⑦紀元後3世紀……争っていた国々が共同して, **邪馬台国**の女王**卑弥呼**を倭国王に立てたことで大乱が収束